

**高野線紀伊清水駅の駅舎をリノベーションし、
国の伝統的工芸品・紀州へら竿の製作工房「匠工房」を開業します！
～駐在する工房職人が駅係員業務を一部協力～**

南海電鉄(社長：遠北光彦)では、「南海グループ経営ビジョン2027」の事業戦略において「選ばれる沿線づくり」を掲げ、高野山と高野山麓エリア(橋本～極楽橋駅)への来訪者層の拡大と回遊性向上を目的に各種取組みを推進しています。

この度、同エリアの更なる活性化を目的に、橋本市(市長：平木哲朗)及び紀州製竿組合(組合長：米田護)と共同で紀伊清水駅駅舎リノベーションを行い、紀州へら竿工房「匠工房」を開業します。へらぶな釣りの聖地「隠れ谷池」の最寄り駅である紀伊清水駅にて本工房を開業することにより、130年以上の歴史を誇る伝統的工芸品「紀州へら竿」の製作体験プログラムを設けることで、全国100万人といわれるへらぶな釣り愛好家の皆様にお楽しみいただくことはもちろん、今まで同エリアに馴染みのなかったお客さまにお越しいただくことを狙いとしています。

また、駅係員無配置駅・紀伊清水駅の利便性向上を図るべく、同工房に駐在する紀州製竿組合の工房職人が、鉄道をご利用のお客さまに対する一部お手伝いや駅施設の美化活動等を行います。テナント運営と駅係員業務(一部協力)の一体的な運用は、当社駅係員無配置駅では初めての試みです。

具体的な施設としては、駅舎西側を工房スペースとし、これまでの駅舎の姿を可能な限りそのまま活用することで、歴史を感じる駅舎と伝統工芸が合わさったレトロな空間を創出します。開業は今年1月から2月頃を目指して準備をしており、決定次第お知らせいたします。

今後は、本施策に加えてこれまで高野山麓各駅で実施してきた取組みとの相乗効果によって、引き続き同エリアのさらなる魅力向上を図ります。詳細は、別紙のとおりです。



紀伊清水駅・駅舎外観

「匠工房」予定場所



「匠工房」イメージ

別紙 紀伊清水駅リノベーションの取組みについて

1. 「匠工房」の施設概要

「紀州へら竿職人」の指導育成場所としての役割と、伝統的工芸品「紀州へら竿」普及推進の役割を期待。

(1) 製作体験エリア

紀州へら竿の製作体験を実施。紀州へら竿の工程は、①原竹の乾燥②生地組み③火入れ④中抜き⑤込み削り⑥絹糸巻き⑦漆塗り⑧差し込み⑨握り⑩穂先削り⑪胴漆塗り(胴拭き)⑫仕上げと、大きく分けて12工程あり、そのいずれもが手作業です。通常はこれらの作業を同じ竿師が一人で行っていますが、その【③火入れ⑩穂先削り】の部分を経験いただけます。

(2) 展示・販売エリア

紀州へら竿を自由に観覧でき、お気に入りの竿は購入可能です。

2. 「匠工房」の営業情報

(1) オープン日 2021年1～2月頃予定 ※決定次第、お知らせいたします。

(2) 営業時間 (通常営業) 火・水・木・土曜日の各日8時30分～16時30分 (体験は9時～16時)

※1組5名以上で事前に製作体験をご予約いただいた場合は、月・日曜日も営業いたします。

(定休日) 金曜日

(3) 体験料金 1回1時間～ 2,000円(税別)～

※工房見学は無料

3. 工房職人による駅係員業務の一部協力について

工房職人は、以下を中心とした駅係員業務の一部に協力します。

- (1) 駅構内の清掃
- (2) 紀伊清水駅構内の忘れ物一時預かり
- (3) お年寄りや身体の不自由な方、介助が必要なお客さまへのお手伝いや見守り
- (4) 駅構内花壇の散水作業等の日常管理
- (5) 駅務機器「現金積増機」における切符誤投入時の除去処理

南海グループでは、SDGsへの取組みを強化しており、関連するニュースリリースに「SDGsの目標アイコン」を明示しています。今回ご案内の取組みは、17番に繋がるものです。

17 パートナリプで
目標を達成しよう



【ご参考①】紀州へら竿と紀伊清水駅の関係性

1. 紀州へら竿

3種類の天然の竹を組み合わせて作る130年以上の歴史を持つ伝統的工芸品。

2. 紀伊清水駅

紀州へら竿師の里として製竿師が工房を多く構える産地の中心。

へらぶな釣りの聖地「隠れ谷池」の最寄り駅。

3. 隠れ谷池

紀州へら竿の研究と一般開放を行っており、へらぶな釣りも体験できる。

紀伊清水駅より徒歩約10分。



紀州へら竿



隠れ谷池

【ご参考②】高野山と高野山麓エリアにおけるこれまでの取組み



高野山と高野山麓エリア(橋本～極楽橋駅)が「国内外の旅行者に選ばれる関西有数の観光地」となることを目指し、各種施策を推進しています。高野山という目的地に加え、「そこへ向かう道中」における「楽しさ」や「期待感」の創出に尽力しています。

1. 「こうや花鉄道 天空」の運行
2. 九度山駅の「九度山真田花壇」設置
3. 高野下駅の「花屏風」設置 など



こうや花鉄道 天空

また、近年では、現代の参詣道である自社線の魅力を高めつつ、新たなターゲット層に響くコンテンツを開発・発信しています。以下、2019年～2020年の主な取組みを抜粋します。

4. 九度山駅 おむすびスタンド「くど」
2019年11月2日開業。九度山駅舎をリノベーションし、ホームから見える厨房には、3台の“かまど”を設置。かまど炊きのおむすびに地元・和歌山県産の食材を使用し、九度山・和歌山らしさあふれるメニューを味わえます。展望デッキからは九度山のまちの眺望が楽しめ、飲食スペースには、山麓区間(紀伊清水～極楽橋駅間)の運行管理を行っていたCTC(列車遠隔制御装置)やレトロな沿線案内図を内装として活用しています。
5. 高野下駅 駅舎ホテル「NIPPONIA HOTEL 高野山 参詣鉄道 Operated by KIRINJI」
2019年11月2日開業。大正建築の近代化産業遺産である駅舎をリノベーションし、全国的にも珍しく“関西初”となる「駅舎ホテル(2室)」を歴史ある参詣道で高野山頂を目指すトレッキングの拠点として整備しています。
6. 桜並木のライトアップ&花文字花壇
2020年3月、学文路～九度山駅間の「桜並木のライトアップ」及び、学文路駅にて「学文路 花文字花壇の設置」を実施し、花スポットを拡充しました。
7. 極楽橋駅 リニューアル
「はじまりの聖地、極楽橋。」をコンセプトに、電車とケーブルカーの乗換駅である極楽橋駅が「高野山参りの初めに必ず訪れたい場所」へ、2020年7月20日に生まれ変わりました。



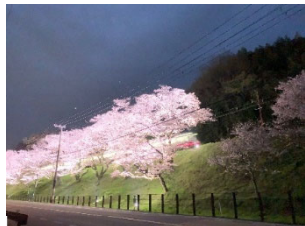
九度山駅 おむすびスタンド「くど」



高野下駅 駅舎ホテル



極楽橋駅 リニューアル



学文路～九度山駅間 「桜並木ライトアップ」



学文路駅「学文路 花文字花壇」

以上